

るり光

No.117 2012. 3

発行 真言宗豊山派
北田山宝泉寺
所沢市北岩岡130
編集 色摩真琴

震災一周忌

あの大震災から一年が経とうとしています。多くのメディアで（このるり光でも…）当初「未曾有の」という枕詞がついていたことは記憶に新しいところですが、今この一年を振り返ってみると「未曾有の」という言葉が何となく他人事のように思えてなりません。東日本大震災とは数百キロ離れた遠くの出来事ではなく、いわば私たちの身に起きた震災であったのだという思いを強くする毎日です。

宝泉寺では、彼岸中のお賽銭を義援金にあてる活動を始め、5月大般若会においては、皆様からお預かりした祈願料の相当額を被災地に送り、また、毎月11日には震災物故者精霊へのご回向を営み、そこでいただいた塔婆回向のお布施をやはり義援金として参りました。そして、これらの活動の一区切りとして震災から一年という節目に地震発生と同日同時間である3月11日午後2時46分より物故者諸精霊への一周忌法要を厳修いたします。

つきましては皆様にもご参集いただきたくご案内致します。お時間の取れる方はどうぞ直接宝泉寺本堂までお越し下さい。

【震災一周忌法要】

日時：3月11日 午後2時46分より

会場：宝泉寺本堂

皆さんと一緒に勤めをします。途中参加もかまいません。

御詠歌はじめます

(4月からスタート)



日時: 毎月第 土曜日 時~ 時 場所: 宝泉寺本堂
会費: お1人様 1回 500円(練習後にお茶会あり)

お問合せ/04-2943-2467 所沢市北岩岡130 北田山 宝泉寺

絵: 宮島 咲

ご詠歌いよいよ開始です♪

これまで何度かお伝えしてきたように、ご詠歌の会を4月より始めます。ご詠歌はお釈迦さまの教えや、弘法大師の功績などを歌詞とする、民謡調の賛美歌です。正式な形ではイラストのように鈴鉦(れいしょう)という楽器を使いますが、初めはこれらを用いず、お唱えだけでスタートします。教本もお寺でコピーしたものをお配りしますので、歌が好きな方、仏教に興味がある方、お気軽に身一つでご参加ください。

なお、一時間ほどの練習を終えた後はお茶を飲みながらおしゃべりです。この時間がまた楽しいんですよ！

【ご詠歌の会】

日時：毎月第1・3土曜日 午後2時30分より4時ぐらいまで

会場：宝泉寺「るり洞」

会費：一回500円

参加資格：お檀家さんに限らずどなたでも

宝泉寺月例会のご案内

宝泉寺では、4月から発足するご詠歌の会の他に「写経の会」、「朝のお勤め」を皆さんと一緒に行っています。こちらもお檀家さんに限らずどなたでも参加して頂けるものですので、いつでもお越しください。

【写経の会】

日時：毎月第2・4月曜日

午前10時から12時

会場：宝泉寺「るり洞」

会費：一回500円

※写経用紙等はこちらでご用意いたします。

書道用具のみお持ちください。

【朝のおつとめ】

日時：毎月8日、21日

朝9時から15分ほど

会場：宝泉寺「大師堂」

会費：なし

※お持ちの方は数珠をご用意ください。経本はこちらで準備します。お墓参りと併せていらっしゃる方が多いようです。

☆はなまつり☆

4月7、8日に今年もお釈迦様の誕生を祝う「はなまつり」を行います。期間中は本堂を開放し、甘茶やお菓子でお接待いたします。また、8日の午後には昨年同様腕輪念珠を作りその後開眼のおつとめをします。特に申し込みは必要ございませんのでお気軽に足をお運びください。

【はなまつり】

日時：4月7日（土）、8日（日）

10時から16時まで本堂を開放していますのでご自由にお参り下さい。また、8日の14時から腕輪念珠作り。15時から開眼のおつとめをします。腕輪念珠を作る方は500円をちょうだいいたします。

NPO 法人
颯埜扉バザー
3月20日（火）
10時～3時半
宝泉寺境内

「颯埜扉(しのひ)」は精神疾患をかかえながら、社会復帰を目指す方々を多面からサポートするNPO法人です。

多くの方からよせられた、善意の品々をお持ちしておじゃま致します。よろしくお願い致します。

編集後記

- ・ 絶えて久しいご詠歌だが、副住職の手で復活スタートすることになった。2年間、宗派のご詠歌研修をうけてのこと、ご詠歌にはカラオケや民謡、詩吟などにはないおもしろさや難しさがあり、とても味わい深い。ぜひこの世界をのぞいてみて下さい。
- ・ 思いがけない寒冬、雪国では大きな被害を受けてしまった。山形育ちの小僧、38(さんばち)豪雪の記憶もよみがえる。例年なら年内に咲き始める梅も一ヶ月以上も遅い。今はフクジュソウが陽を受けて耀いて、自然は確実に巡っている。しかし誰もが日々の暮らしの将来にこそ春を待ち焦がれているのだ。
- ・ 大震災一年を目前に多くのメディアが取り上げている。中でも大きな問題が未解決の大量の瓦礫処理率の低さ、まだ5%程度と伝えられている。処理の引き受け手がいないためだが、敢えてリスクは負いたくないのも一理、でもここはみんな痛みを分かち合えないか、「情けは人のためならず」を思いおこしている。 Mar.5.2012(琴)